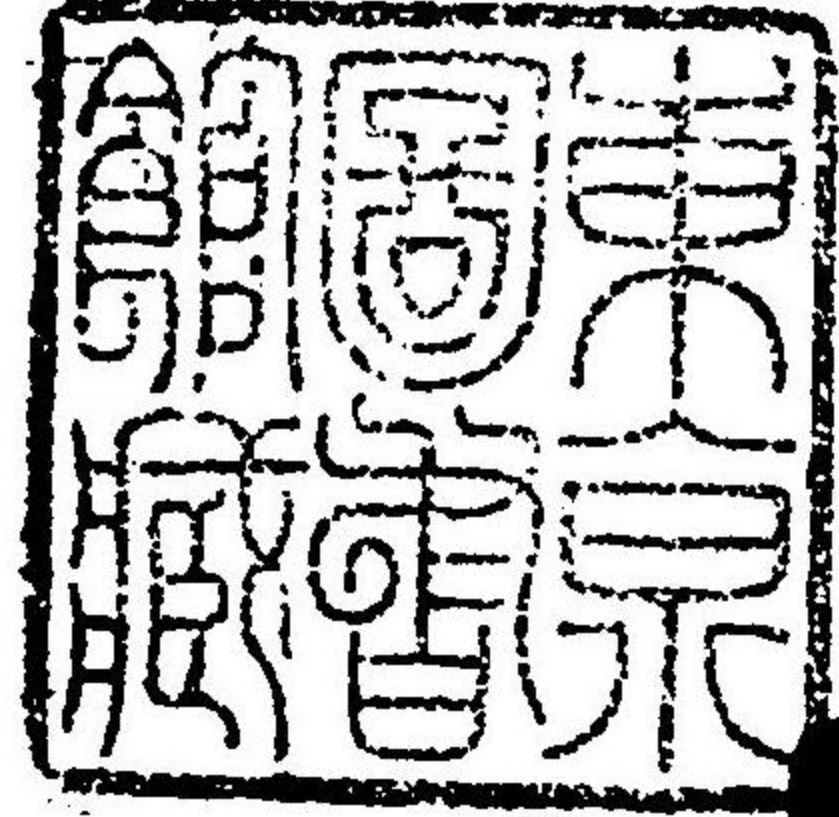


№ 2047/23



林鹿  
花

通

己卯桂月  
石字題



بسم الله الرحمن الرحيم  
الحمد لله رب العالمين  
والصلاة والسلام على  
سيدنا محمد وآله الطيبين  
الطاهرين  
الذين هم خاتم النبيين  
مبشرين ونذيرين  
والله اعلم بالصواب

الحمد لله رب العالمين  
والصلاة والسلام على  
سيدنا محمد وآله الطيبين  
الطاهرين  
الذين هم خاتم النبيين  
مبشرين ونذيرين  
والله اعلم بالصواب

尾形光琳作 硯箱 三分之二 號四

春繁居梅庭藏

寸法 匣八寸横七寸  
玉極也地惣金  
直衣青貝蓋金筋  
黒くろり筋金  
指貫青貝只紋金  
馬場輪鍍銀金  
波音金のうへ銀  
硯及水清箱の内外の  
全圖ハ新理光琳百圓  
ニ載ルレハニと云  
カキ



春繁居梅庭藏

外箱同入書



佐野渡銀箱

號九十

春の光琳

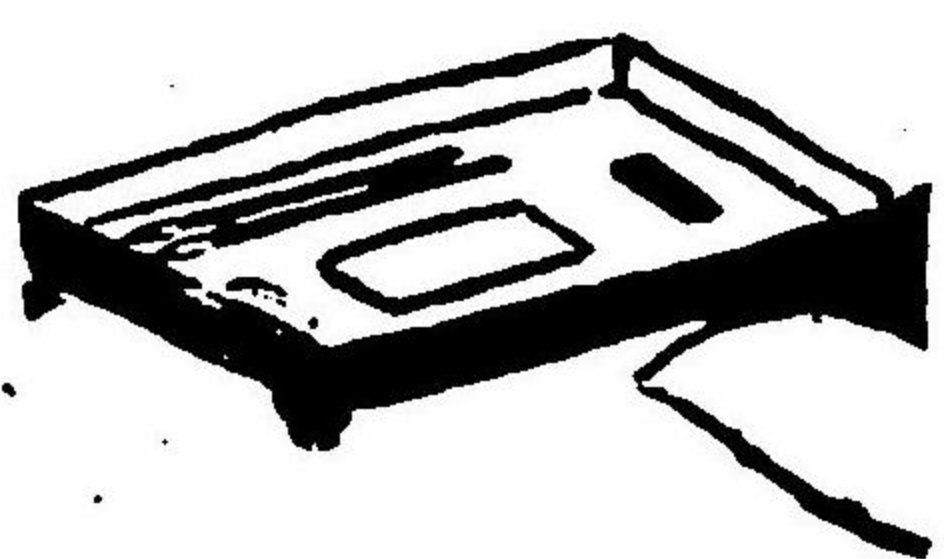


離屋立圖百像

正伯画 自賛

絹本着色 置物長二尺六寸五分 横七寸九分  
寶曆十一年 全書繪寫 谷文晁の末期墨畫

伊藤聽雨藏



是を我像なりて思ふ生白の

心せしむるもあはれに

かゝるにえやハ

能い乃 筆名玉



三代目高権真照 全文書

三浦屋花菱屋より傳りし文三毛抄通名宛書用一巻書に別人乃と云ふ事延享三年と云ふ事  
三代目高権真照の明証として是則子孫の尾に  
名宛ハ東書あり  
以上柳亭高権より傳りし尾年代記の説に據る

長井十足蔵

三代目高権真照  
長井十足蔵  
三浦屋花菱屋より傳りし文三毛抄通名宛書用一巻書に別人乃と云ふ事延享三年と云ふ事  
三代目高権真照の明証として是則子孫の尾に  
名宛ハ東書あり

三代目高権真照  
長井十足蔵  
三浦屋花菱屋より傳りし文三毛抄通名宛書用一巻書に別人乃と云ふ事延享三年と云ふ事  
三代目高権真照の明証として是則子孫の尾に  
名宛ハ東書あり

古板江戸鹿の子巻七

此丁も名此人物多く清洲と云ふは此の横濱す

樋口越古殿

秋後  
 本名不詳なり 昔も名は良き月  
 一は侍りしつゝ 今も一は侍りしつゝ  
 月乃を 今も侍り  
 其者  
 本名不詳なり 昔も名は良き月  
 一は侍りしつゝ 今も一は侍りしつゝ  
 月乃を 今も侍り  
 其者  
 本名不詳なり 昔も名は良き月  
 一は侍りしつゝ 今も一は侍りしつゝ  
 月乃を 今も侍り

月乃の 今も侍り  
 其者  
 本名不詳なり 昔も名は良き月  
 一は侍りしつゝ 今も一は侍りしつゝ  
 月乃を 今も侍り  
 其者  
 本名不詳なり 昔も名は良き月  
 一は侍りしつゝ 今も一は侍りしつゝ  
 月乃を 今も侍り

其者  
 本名不詳なり 昔も名は良き月  
 一は侍りしつゝ 今も一は侍りしつゝ  
 月乃を 今も侍り  
 其者  
 本名不詳なり 昔も名は良き月  
 一は侍りしつゝ 今も一は侍りしつゝ  
 月乃を 今も侍り  
 其者  
 本名不詳なり 昔も名は良き月  
 一は侍りしつゝ 今も一は侍りしつゝ  
 月乃を 今も侍り

菱川吉幸術師宣女繪 招清多氣志持殿

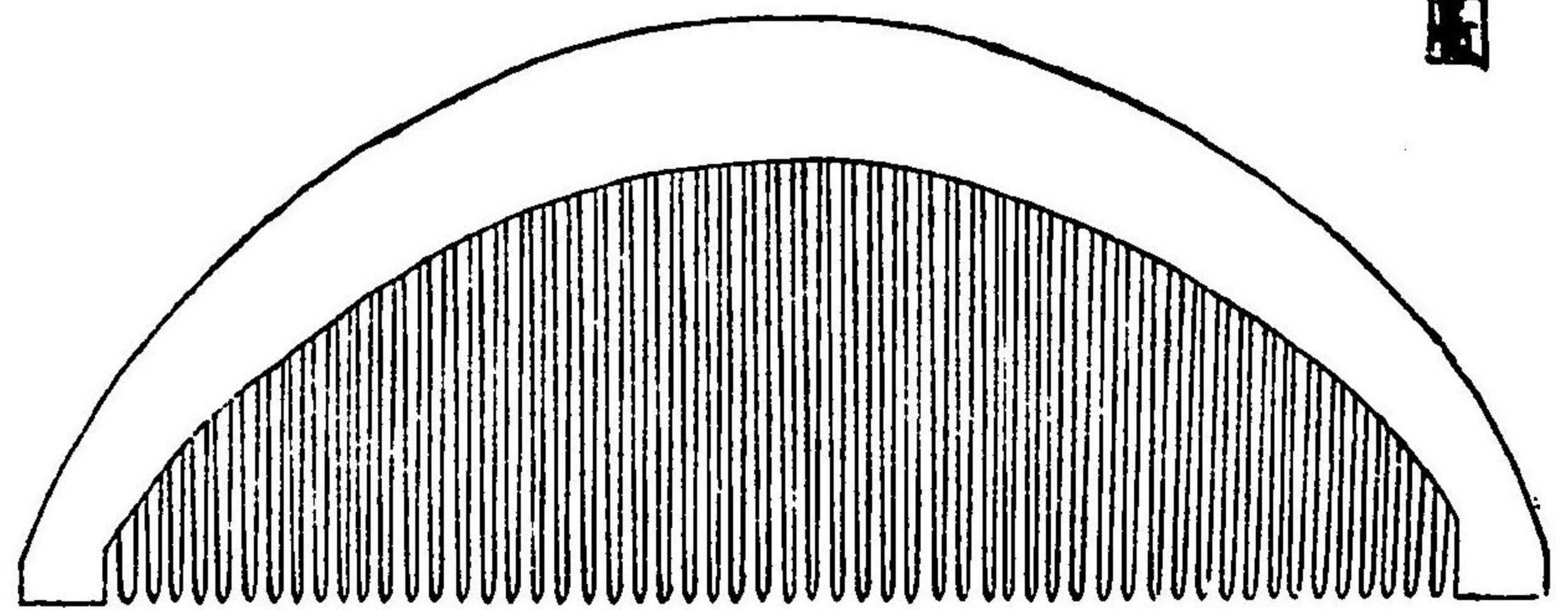
現行 通泉書

堅一尺六寸  
 横一尺四寸  
 二寸重  
 生漆成澤  
 着名



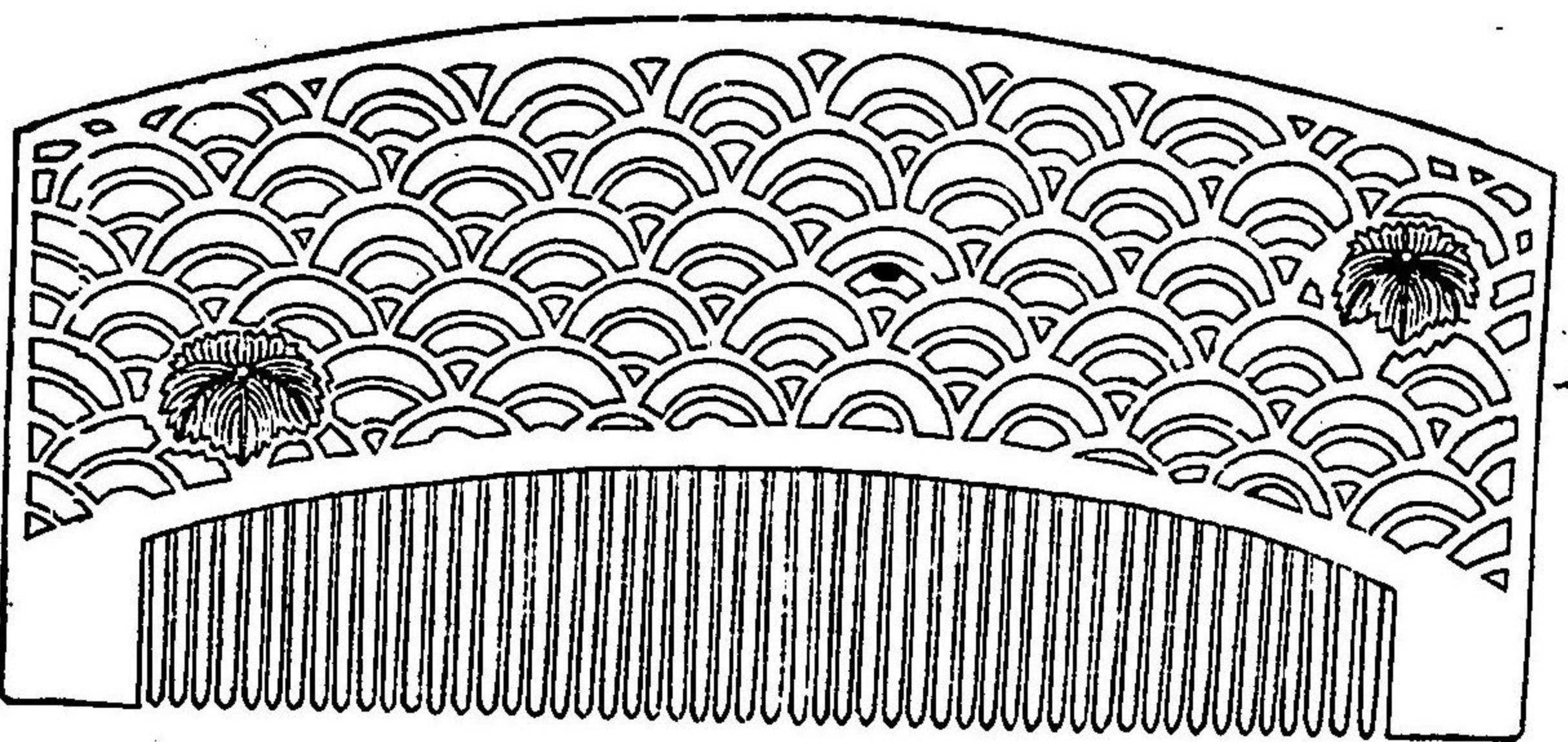
通泉書

金地金大如圖



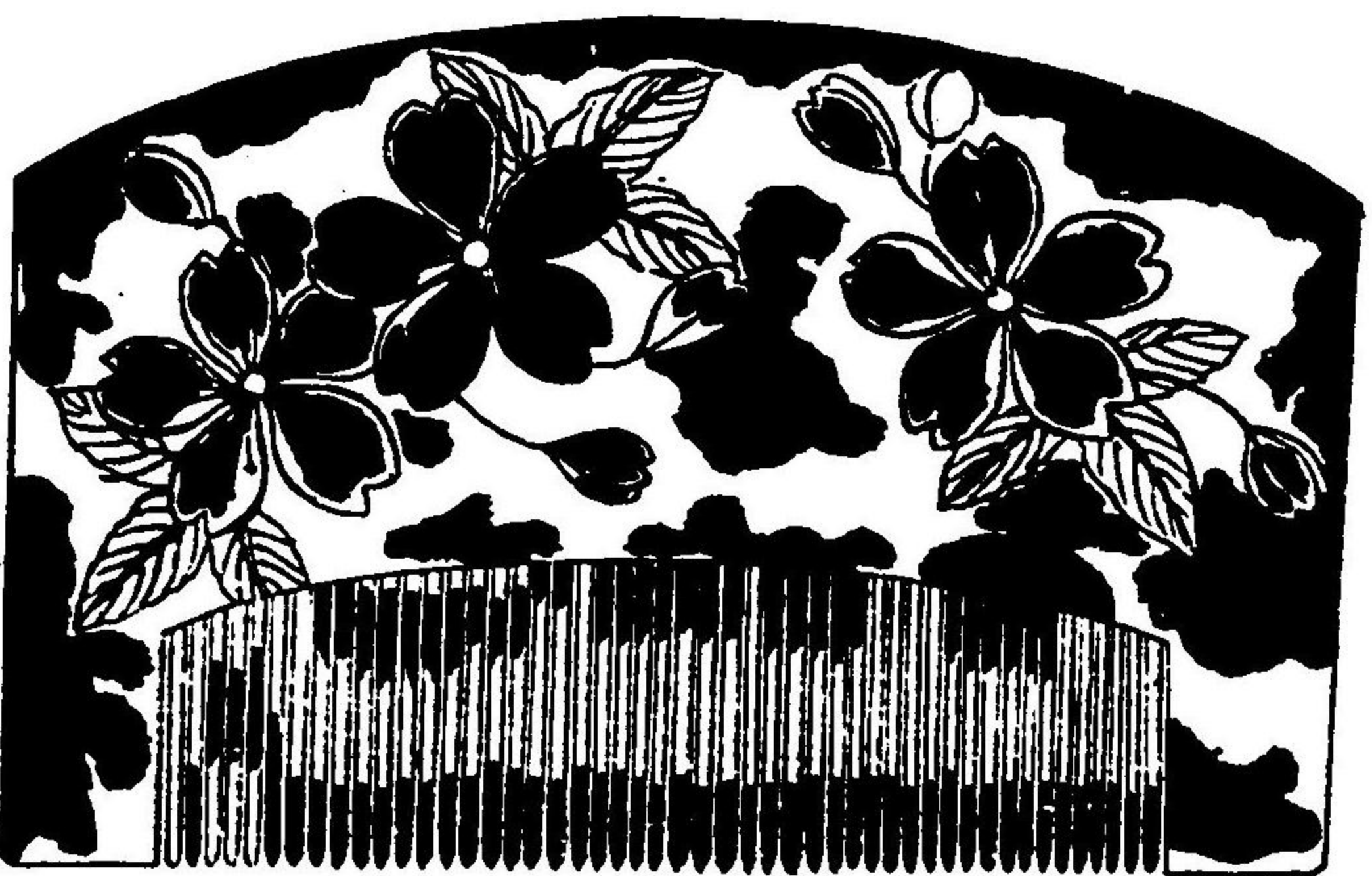
萬葉集  
 於多良山とて形十年春  
 朱ねりの梯の籠えつとて  
 朱仲獨吟秋仙  
 園の地並所噴りゆく  
 角積を下詰の面々  
 享保のころ形形の梯乃流りて  
 上に出で元形の格も同時代に  
 右二種 萬葉集卷第拾

天和貞享のころの形  
 鑿甲碧すう〜大如圖

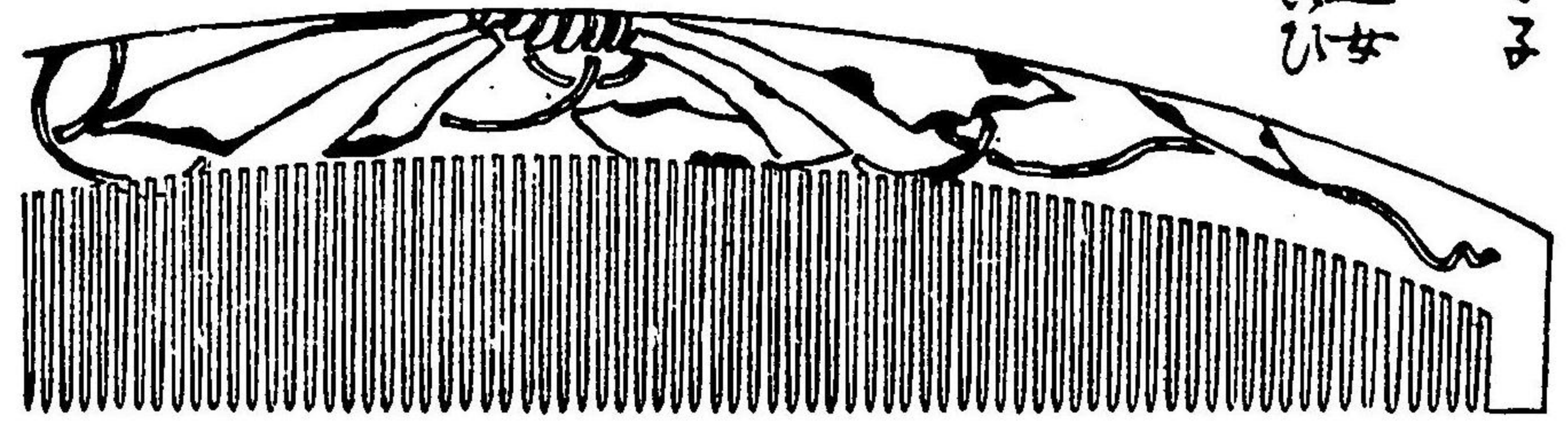


柏木政矩藏

下地朱塗の上地金箔押  
 両面とも同様模様の花二種  
 滔々置け大如圖

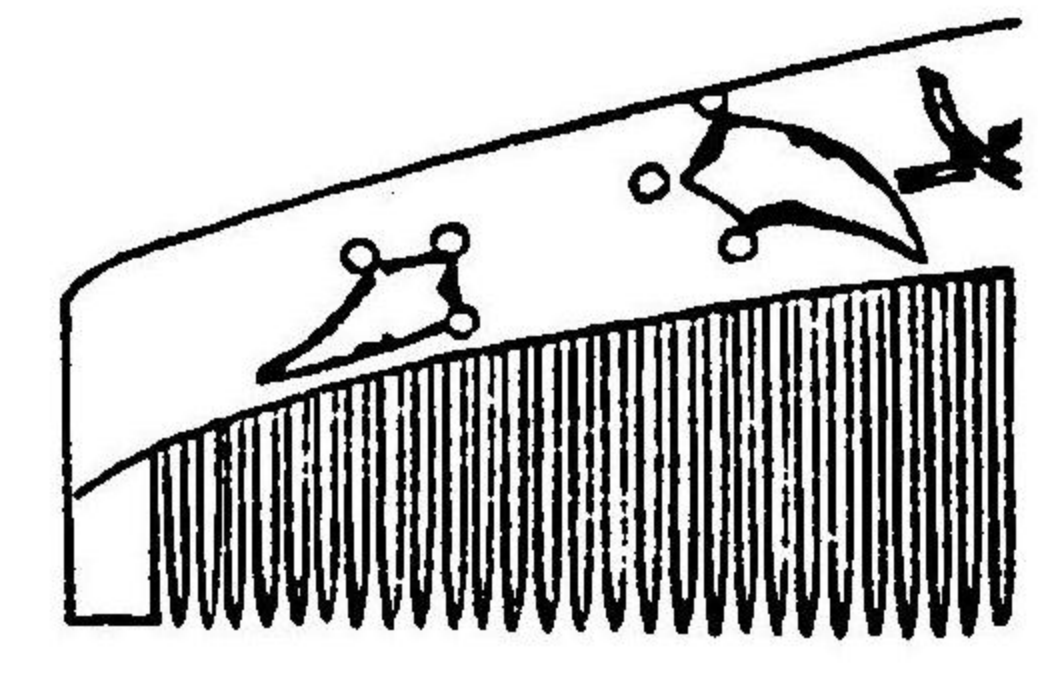
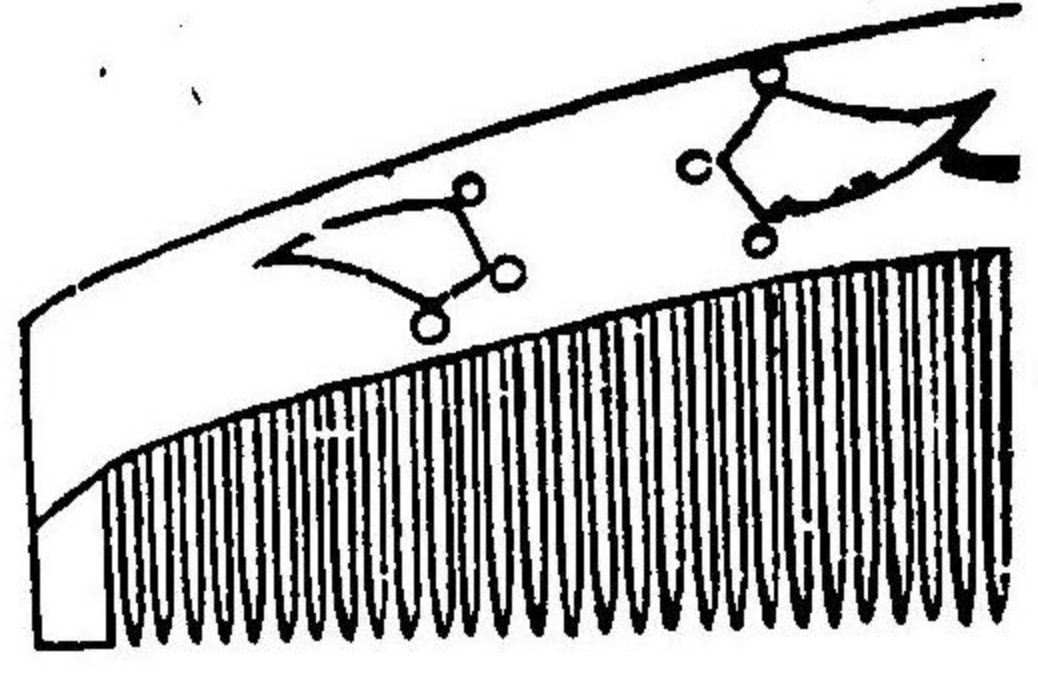
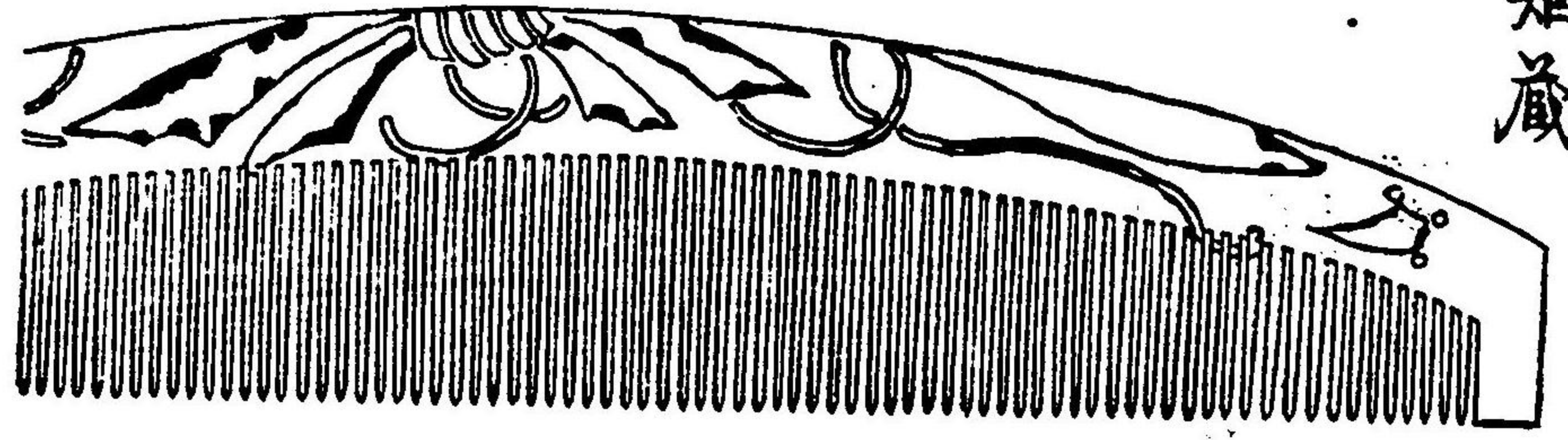


伊須本池原斗丁子  
 請給う格  
 京都島原の遊女  
 吉徳の所持といひ  
 けしん



柏本政矩蔵

大如圖  
 同 裏



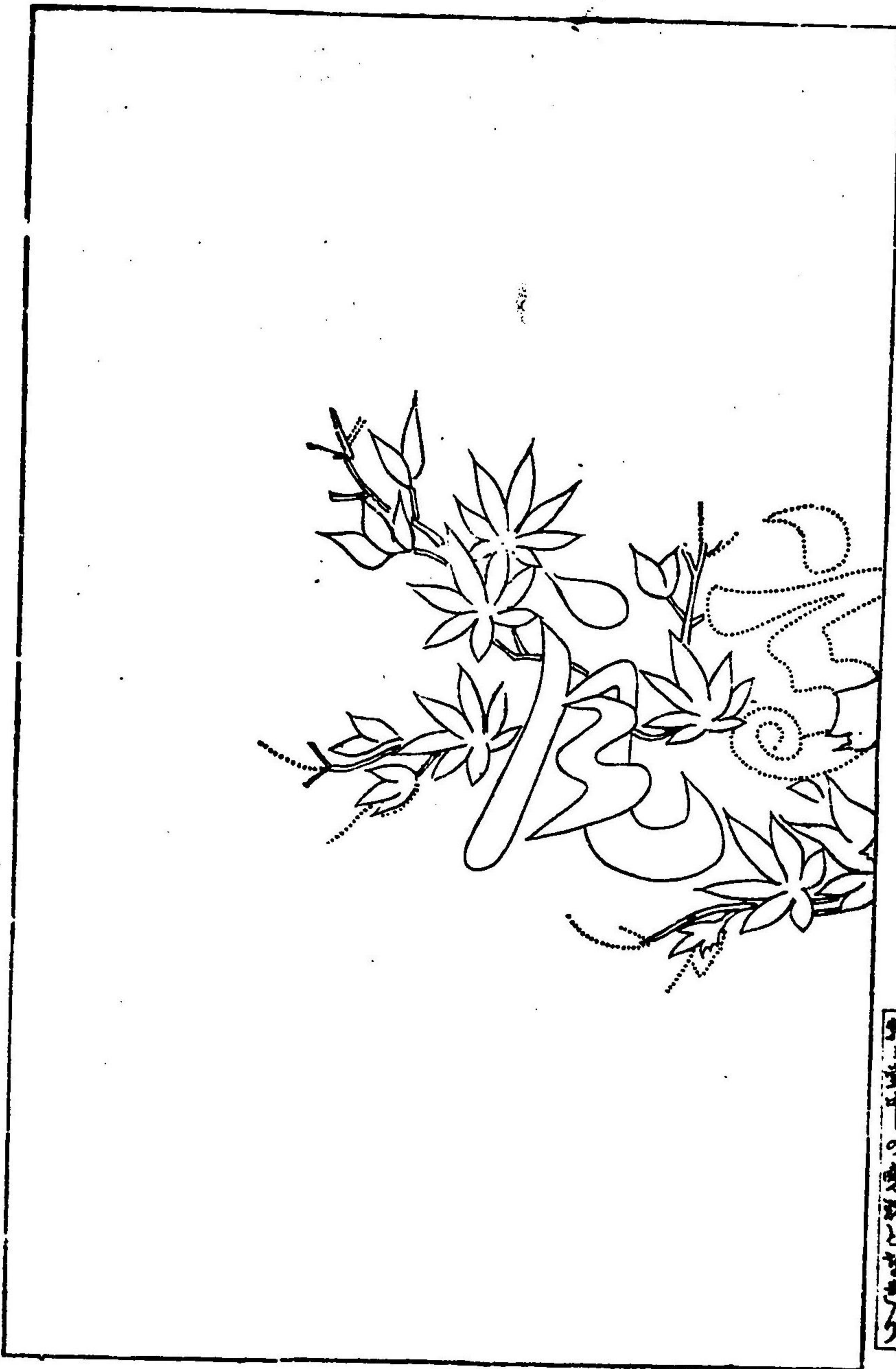
友禪画  
 紙幸守切彦著

長井十蔵





仙臺藩掲原家藏 尾小油之製  
大軸二尺三寸中五寸三分  
 地粟良葉を模枝應大如圖



三浦乾也藏  
明治十年九月三浦氏に傳へ  
 別と堂中一の書説と云ふ

鐵煙管 二寸一分圓

著録は祖米先生の鐵煙管の職を載す按き  
 當時の製れ世は流行せしと思ふ

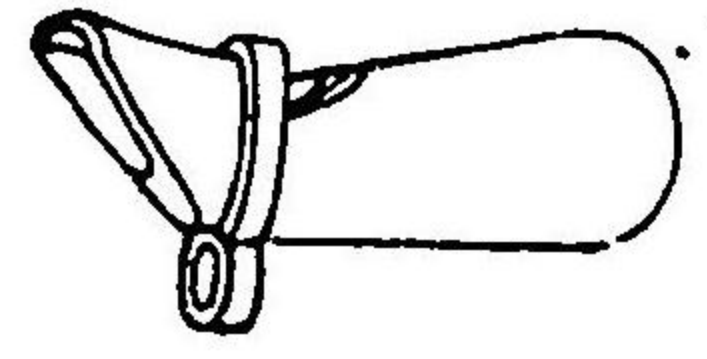
柏木探古藏



長一尺二寸一分

赤穂義士所持呼子笛

大サ如圖鉛製ありて口に鉄氣を  
 生し歌口へ槍と切らぬもの



畠山如心齋藏并寫

櫻簪の夜携ふる所ゆゑ當時江戸住紀州  
 浪人三宅伴左衛門定秀なる者き翌朝  
 吉良邸内より拾ひ得るものなり定秀は  
 後年水戸家へ仕へし人近頃落葉様  
 士族某より之を得て収む

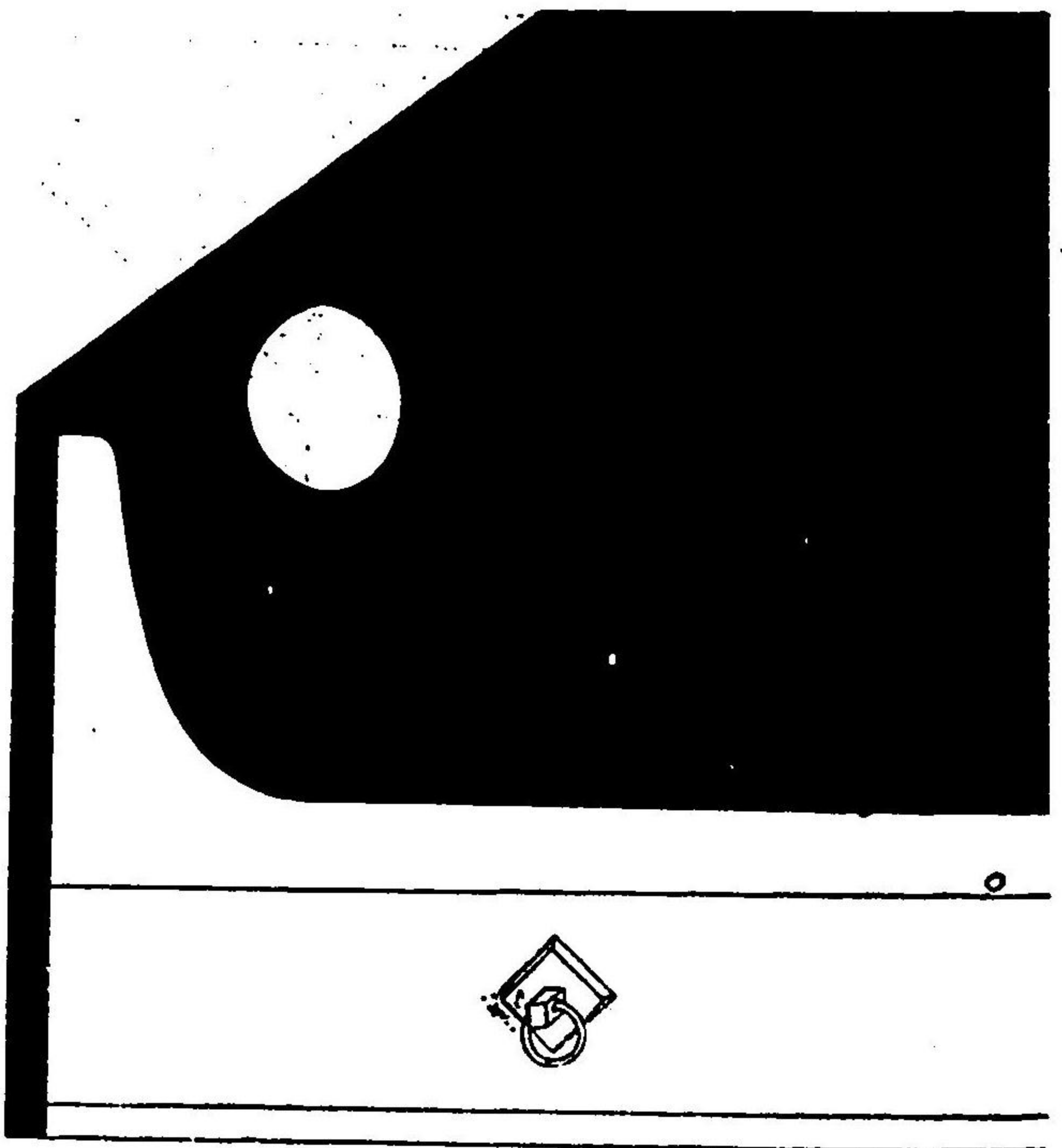
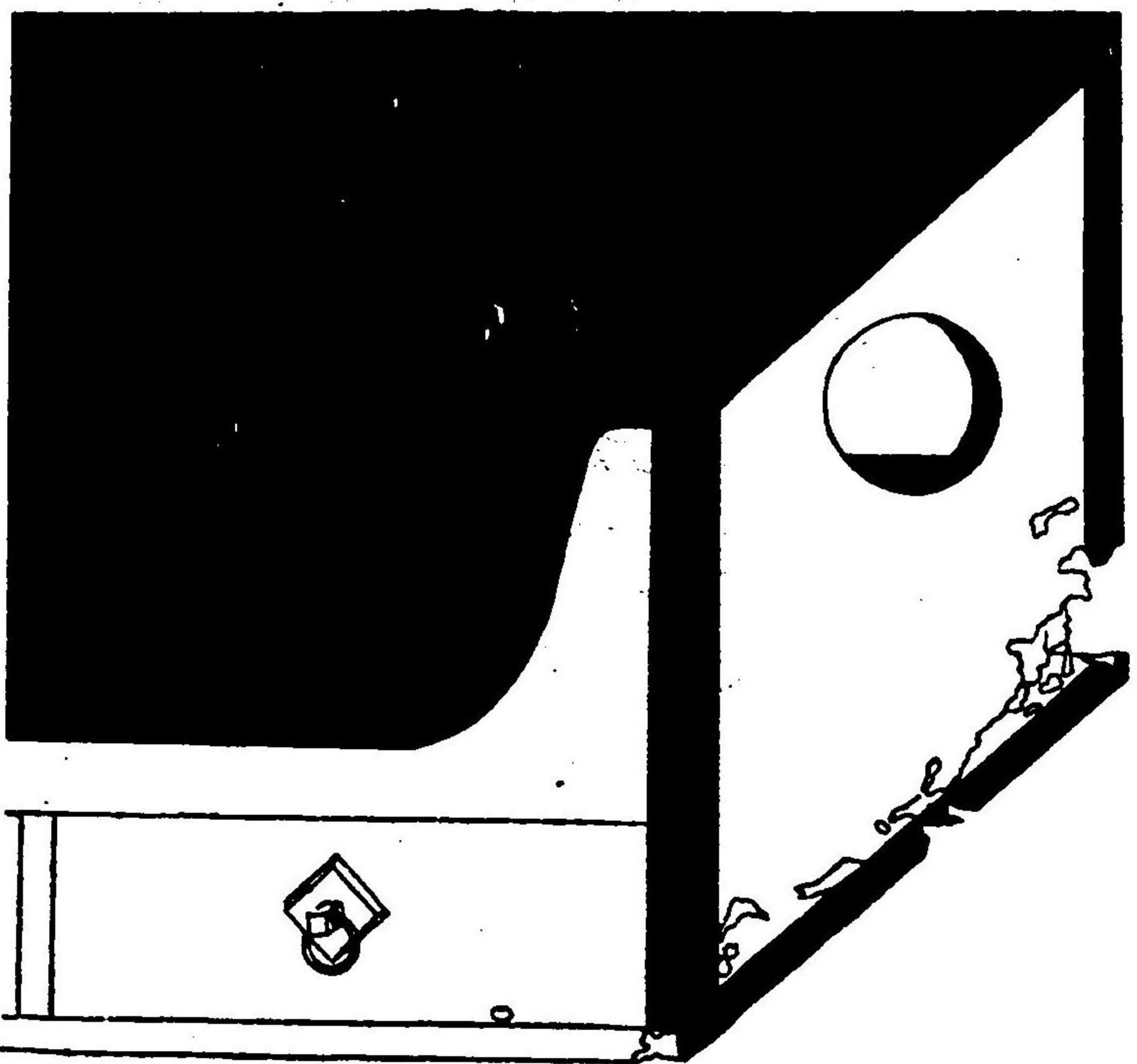


三浦屋四郎左衛門店長盒

貞享元禄の以遊女乃用ひる器也

長井十足藏

高四寸一斗模たす下  
真打五寸  
奥出ー大の才模す  
小の方同三寸下  
惣米内五寸ひき出し  
全ふ赤相



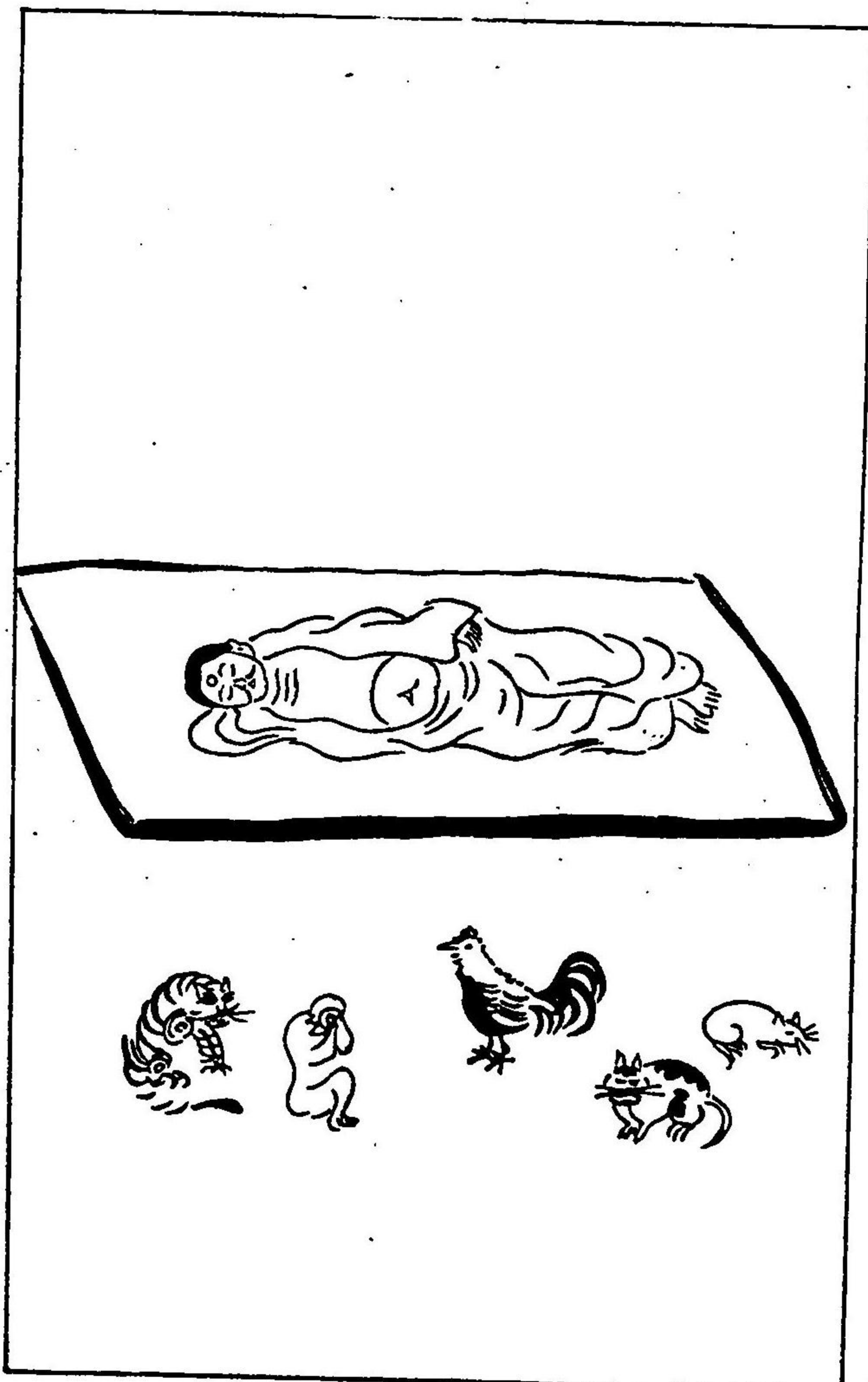
三浦屋

東は好くても用ひるに及ぶと云ふ事なり  
かりと云ふ

大津繪涅槃像

原本 横七寸六分

佐藤榮中藏



元禄室水の次佛像をいふて載画の如くは... 大津の佛像をいふて載画の如くは... 大津の佛像をいふて載画の如くは...

五明栲毬女合心盃

轉々堂藏



古繪寫

須知町と申すは... 須知町と申すは... 須知町と申すは... 須知町と申すは...

六月九日

大み苗言ま守徳朱塗  
繪金粉 漢玉樓

其裏

東都青樓  
梧桐

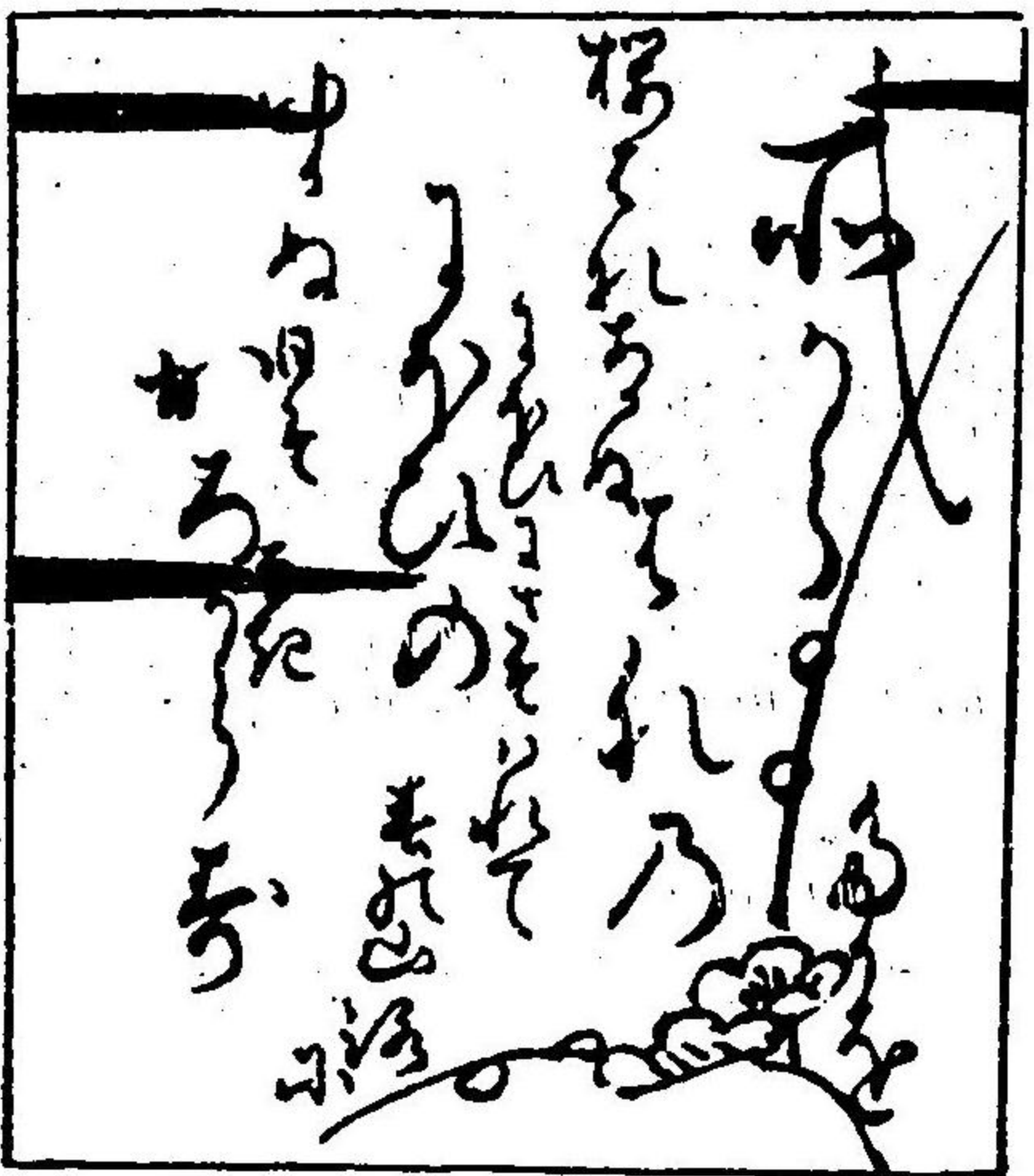
文字墨様

市道今も昔も同じく  
町中昔も今も同じく  
人々昔も今も同じく  
金持昔も今も同じく  
町中の相違も  
六月一日  
前田鶯園藏

花雨瀧川のまに吉原江戸も月角屋の娘はくまの  
全盛ありはむる母々若者をほくく官の賞金を賜ひて  
の活き貴晴ぬたお徳美く時陽より詩を贈る車馬の  
余載く世の人乃知く可きも梧桐の格相を五ま  
馬水魚漢の盛は花柳便知と舞升見う送る形もく  
相屋の蔵ありはる此の盛るも多う田川に梅老あ  
の梧桐は

遊女高尾小色紙

前田鶯園藏




花雨瀧川のまに吉原江戸も月角屋の娘はくまの  
全盛ありはむる母々若者をほくく官の賞金を賜ひて  
の活き貴晴ぬたお徳美く時陽より詩を贈る車馬の  
余載く世の人乃知く可きも梧桐の格相を五ま  
馬水魚漢の盛は花柳便知と舞升見う送る形もく  
相屋の蔵ありはる此の盛るも多う田川に梅老あ  
の梧桐は

おもはくま合

延宝九年正月松本藩左馬助印本  
此原京都三宮尾崎の有名な娼妓  
の証とすべし

大久保 騷斎


 浮世お十郎  
 江戸  
 大久保騷斎  
 延宝九年正月  
 松本藩左馬助印本





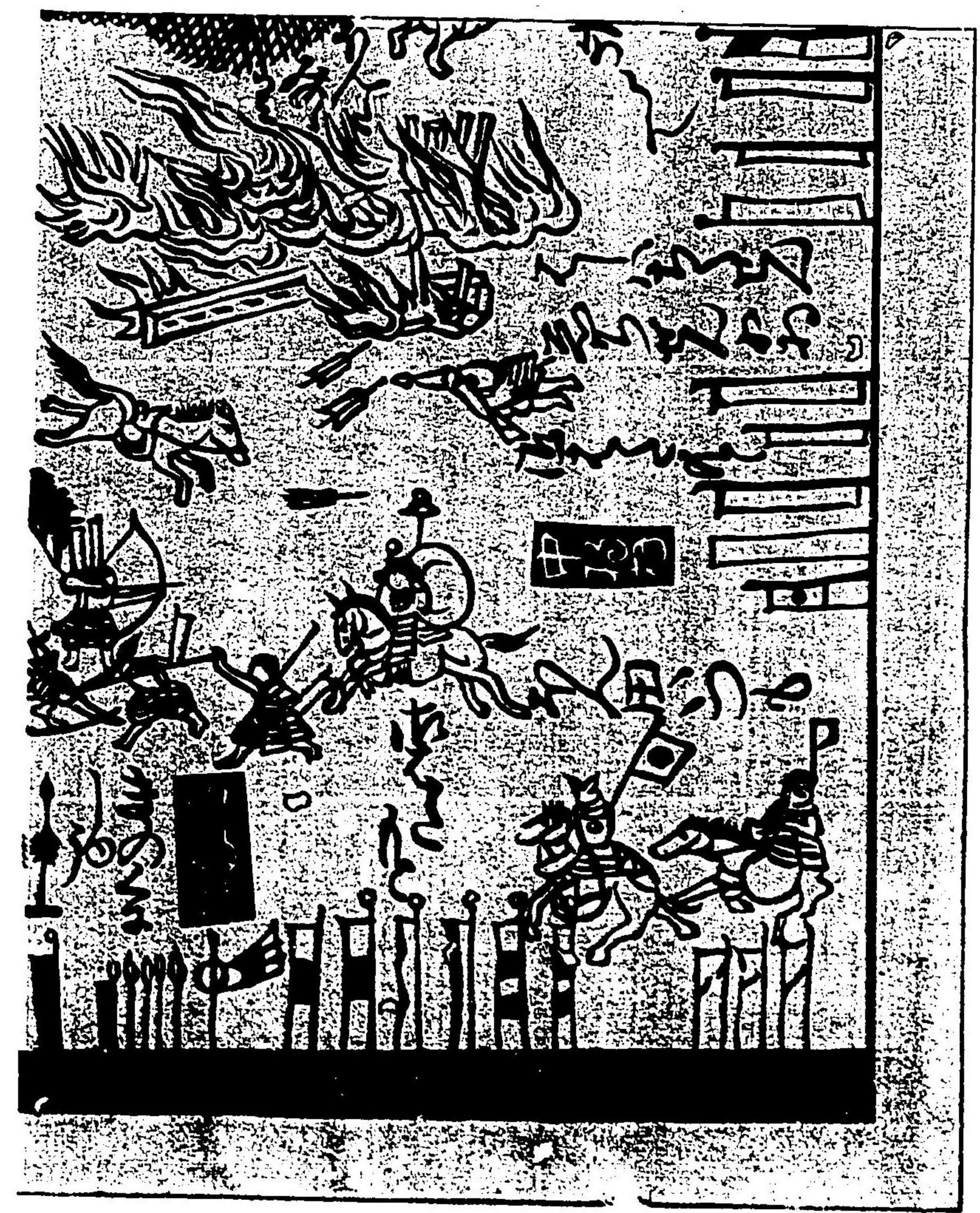
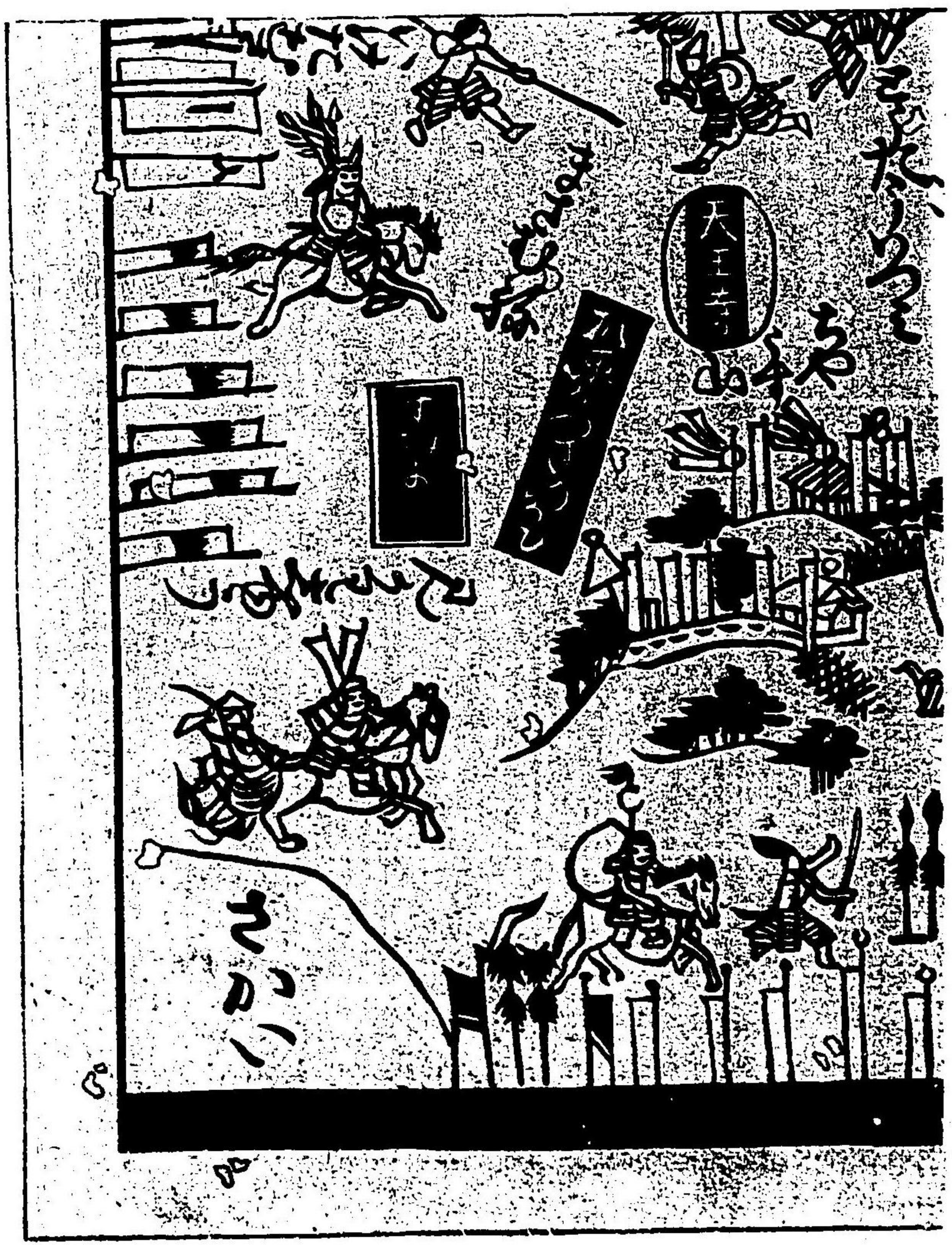
大坂居城圖

元和元年五月、幕府の討江戶の心を挫かんとす。高島、大坂の居城を破る。乃下張とて出陣す。を待て居る。

高島華泉藏







紀伊國屋文左衛門真跡

初代文左衛門敬西の男

三谷三友庵

とねのこころは  
まじりて  
まじりて  
まじりて  
まじりて  
まじりて  
まじりて  
まじりて  
まじりて  
まじりて

まじりて  
まじりて  
まじりて  
まじりて  
まじりて  
まじりて  
まじりて  
まじりて  
まじりて  
まじりて





菱川師宣繪卷物比翼蓮  
 絹本極彩  
 山東京信歌跋

養庭  
 正藏







編纂者故人

高島藍泉



印刷 邑橋正盛

明治廿三年三月十日印刷  
全 年三月廿五日出版

正價 七拾錢

東京市小石川尾竹早所拾番地

編纂者故人相續人

高島執三郎

全 全 尾大門町廿五番地

發行兼印刷者

青山清吉

青山堂馬金屋



402

60

# 東都書林

東京橋南傳馬町一丁目

近江屋

吉川半七

全長橋南傳馬町一丁目

近江屋

林平次郎

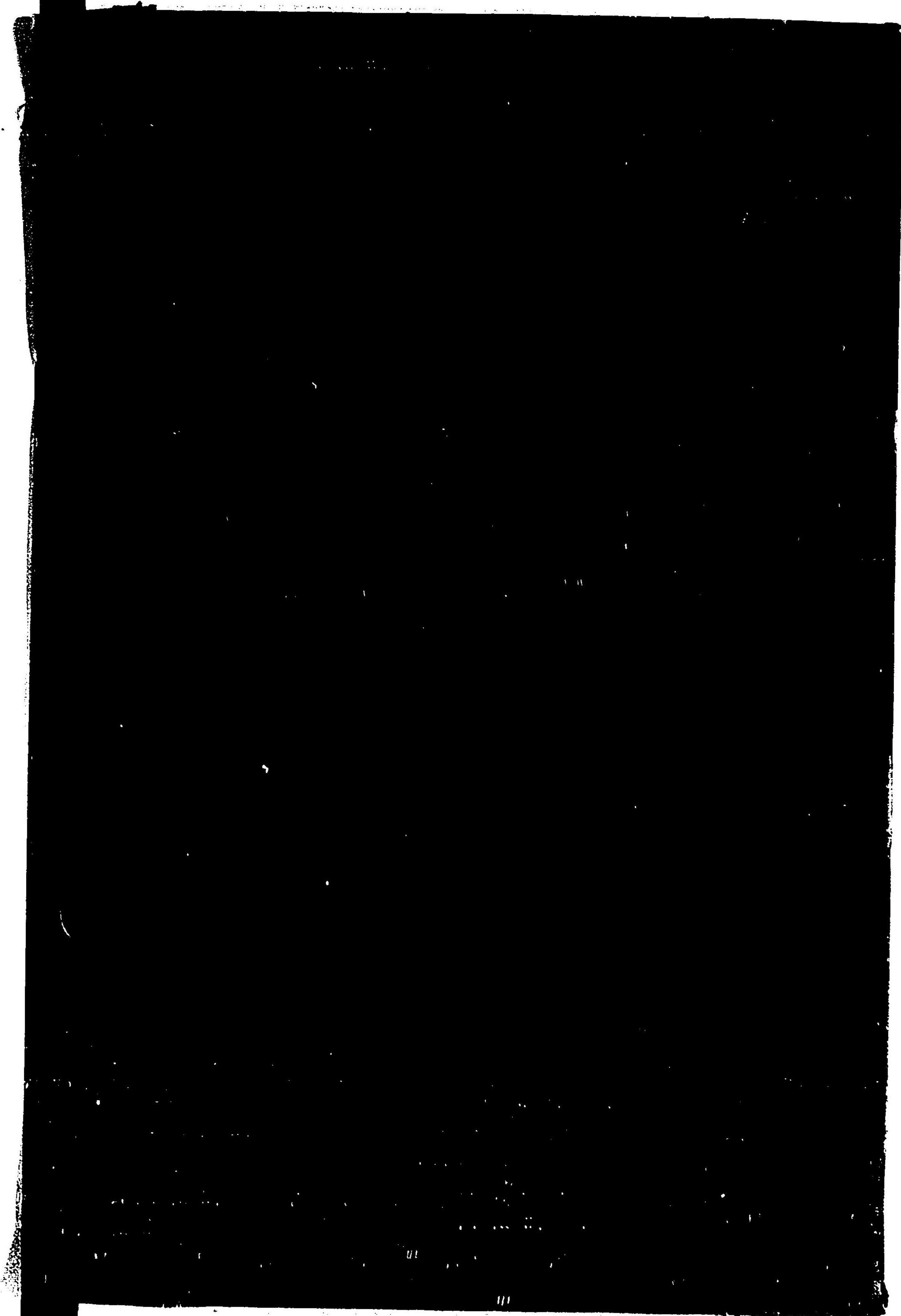
全本柳春本町三丁目

馬金屋

青山堂支店

102

60



204599-000-5

402-60

花の巻 (好古)

高島 藍泉 / 編

M23

EDS-0305



60

館書圖京東			
1/2	3/4	5/6	7/8
冊	號	架	函 類 門